

実施結果の概要

<p>第1回 かしはら みらいカフェ</p>	<p>日時：平成30年11月23日（金・祝） 13:30～15:30 場所：ジュールフェリエ ラ・バンク 33名のみなさんにご参加いただきました！</p>
--------------------------------	---

	<p>第1回の市民ワークショップとして開催した「かしはらみらいカフェ」では、ワールドカフェ※の手法を用いて、一緒に檀原市の未来について考える会話を楽しんでいただきました。</p> <p>会話のきっかけとなる「3つの問い」に対して、それぞれ20分間の会話を重ねた後、最後に「ハーベスト（収穫）の問い」についての意見をまとめて、みんなで共有しました。</p> <p>※ ワールドカフェとは…… 1つのテーブルに4人で座って、フロア全体での共通の問いをきっかけに、20分間会話。その後、ひとりが残って3人がそれぞれ別のテーブルに移動し、また、次の問いをきっかけに20分間会話する、という、合計3回の会話を行って、最後にフロア全体で意見を交わしあうものです。「カフェのようなくつろいだ環境での、自由闊達な会話を通じてこそ、創造的な集合知が得られる」ということを科学してつくられた手法で、地域住民、事業者等、行政など様々な立場の人が、いっしょに考えて「おしゃべり」する濃密な時間を大切にしています。</p>
--	--

<p>3つの 問い</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① あなたにとって「檀原市」の「いいところ」といえば何ですか。具体的な例をあげて話してください。 ② あなたにとって「檀原市」の「いいところ」といえば何ですか。そのうち、他の人と共感しあえること、子どもに伝えたいこと、より磨いていきたいことは何ですか。 ③ 「檀原市」の将来像を描き、共有していただく中で、そうした「檀原市」をつくっていくために、「私」や「私たち」が「明日からでも」できることは何ですか。
-------------------	--

<p>ハーベスト（収穫）の問いと寄せられた意見の主要な内容</p> <p>○ 「檀原市」の将来像を描き、共有していただく中で、そうした「檀原市」をつくっていくために、「私」や「私たち」が「明日からでも」できることは何ですか。</p> <p>将来の檀原市は、こうありたい！</p> <p>いろんな世代、みんなが住みやすいまち／市民の声が市政に届くまち／世代を越えた市民の交流があるまち／若者が住みたくなるまち／歴史の魅力が生きるまち</p> <p>そのために、私・私たちはこんなことからはじめよう！</p> <p>市政に関心をもって、まちづくりに参加しよう／いろんな人と、まちのことについて語りあおう／まちのいいところを、みんなで発信しよう</p>

<p>第 2 回</p> <p>12/22 (土)</p> <p>13:30 ~15:30</p> <p>(参加者 22 名)</p>	<p>まちの『いいところ』『気になるところ』を出しあおう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちの「いいところ（活かすべき魅力・資源）」「気になるところ（解決すべき問題）」を出しあっていただきました。 ○ 安心・安全、福祉と健康、子ども・子育て、文化、活力と賑わい、快適生活、持続可能、行政といった様々な分野について、市民目線による檀原市の「いいところ」「気になるところ」がたくさん交わされました。 
<p>第 3 回</p> <p>2/2 (土)</p> <p>13:30 ~15:30</p> <p>(参加者 19 名)</p>	<p>『私たちから始める』檀原市のまちづくりを考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これから 10 年のまちづくりの「主要な課題（行すべきこと）」を考えて、以下のような『私たちから始める』取り組みをご提案いただきました。  <ul style="list-style-type: none"> ★ 人口減少の中で自治のあり方を見直す、自治力を高める、公共施設の配置を考える、行政の情報をわかりやすくする。 ★ 子育て環境を充実させる、多世代交流を活かす。 ★ 安心なまち、交通安全なまちにする、資源を生かした健康づくりをする。 ★ 文化を生かして活力と賑わいのあるまちにする。
<p>第 4 回</p> <p>2/23 (土)</p> <p>13:30 ~15:30</p> <p>(参加者 24 名)</p>	<p>檀原市の未来、『○○○なまち』を考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 2 回、第 3 回の成果等からつくった 24 個の「ビジョンのタネ」を用いて、総合計画の基本構想につながるような、将来像を表わす「○○○なまち」のフレーズを考えていただきました。 ○ 求めるまちの姿として、子どもが大切にされる、全世代が手をつなぐ、対話と交流がある、住み心地がいい、市民の声が市政に反映される、市民協働が広がる、公明正大である、自然や歴史が活かされる、みんなが好きになる、といった内容が出しあわれ、共有されました。

(第 2~4 回の会場は、いずれも市役所分庁舎ミグランス 会議室 A)